

相談支援の展開における 支援関係の構築

NPO法人パノラマ
代表理事 石井正宏





石井 正宏

Ishii Masahiro



- NPO法人パノラマ 代表理事
- よこはま北部ユースプラザ運営法人
- 一般社団法人インクージョンネットかながわ 理事
- 一般財団法人神奈川ゆめ社会福祉財団 理事
- 横浜市就職サポートセンター スーパー・バイザー
- 神奈川県立田奈高校/大和東高校学校運営評議委員
- フジロック NGO VILLAGE 幹事

社会に出づらい若者の宿泊支援寮を運営するNPO法人で約10年間の支援を経験。この間、若者及び保護者相談、就労支援プログラム等各種セミナー・イベント等企画実施、若者受入れ企業の開拓とコーディネート、宿泊寮の運営、家庭訪問支援、若者自立塾・地域若者サポートステーション等の委託事業管理責任者等を経験。2009年に起業し、(株)シェアするココロ設立。2015年にNPO法人パノラマを設立。主に高校生の予防的支援に取り組み、有給職業体験バイターンを発案。校内居場所カフェ等で活動している。1969年生まれ、東京都出身、3人の子どもの父。音楽マニア（SSW／アナログレコード・コレクター）

npo.panorama@gmail.com

本日の流れ

- 0 : クライアントとの関係構築についての基本
- 1 : 本人と直接話ができない、支援を拒絶する事例の心理
- 2 : 本人が支援の必要性を感じていない事例
- 3 : 家族が本人へ拒否的である例
- 4 : 本人の興味関心のあることから支援につながった事例

よろしくお願ひします。



ひきこもり支援に“**必殺技**”はない

||

こうすれば良いという**正解**はない



正解を求めてしまうことは「**ひきこもり**」
という属性/記号の中に、クライアントの
人格を閉じ込めているということ。

これでは支援が成功しない

ひきこもりに言ってはいけない言葉は？

よくある質問



Aさんに言ったら大笑いしてくれた言葉を、



Bさんに言ったらブチ切れたら

(答えを求めるよりも)

目の前のクライアントに、

人として好意的関心を持ってしっかり向き合う

つまりひきこもりは、 シングル・ストーリーではない

シングル-ストーリー【single story】

一つの出来事が繰り返し語られることにより、固定観念が形成され、唯一の真実であるかのように認識される危険性を表す言葉。

参考：TED日本語 - チママンダ・アディーチェ: シングルストーリーの危険性
<https://digitalcast.jp/v/14170/>

支援者にとって最も必要な力は何か？

助けてと言わない人の心を察し、微弱なSOSをキャッチする

想像力

どこまで“Imagine”できるか？



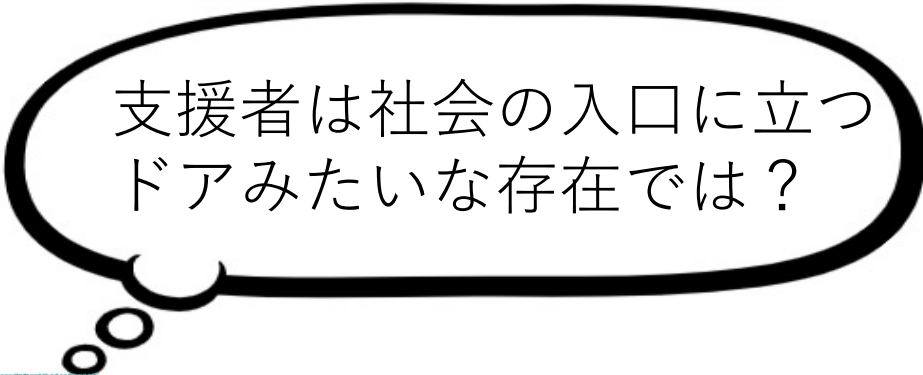
いつまで経っても、新しいクライアントに会う時は、毎回、**自分が役に立ってるだろうか？**と緊張します。

常にデビュー戦
みたいだなあ……



ひきこもり支援は、支援者の専門性だけではなく「**人間力**」が試されるから辛い…。

他者との関係を絶ったひきこもり者は、支援者を通して、**自分に似た他者との出会いを疑似体験**している。



支援者は社会の入口に立つ
ドアみたいな存在では？



支援者 「前に会った当事者の方が〇〇って言ってたけど、ひょっとしてそんな感じだったりします？」

当事者 「あー、まさにそんな感じですよ！（自分だけじゃないんだ～😊）」

沈黙に付き合いつつ、
沈黙を言語化する。



この人ならわかって
くれるかも……

わかりみが深い

「孤立」を解消するものは 「共感」と「ゆるい所属感」

一度、会って話してみたいなあ……



①本人と直接話ができない、 支援を拒絶する事例の心理

成功体験のある保護者・支援者は、人生を「**長く曲がりくねった道**」だと考え、当事者の背中を押すが、成功体験のない当事者は「**断崖絶壁**」だと考えている。



見え方・感じ方の違いを意識せずに背中押さない

外出を促す支援や居場所支援、就労支援等は断崖絶壁の向こうにある支援である。これらの支援に背中を押すなら、その前に橋を架けてあげなければ、当事者は一步を踏み出せない

キーワードは「BRIDGE」



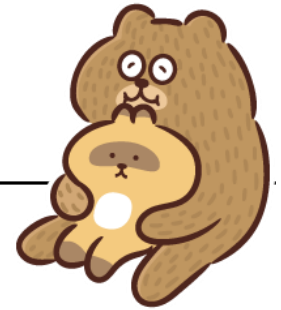
「このままでいいとは思っていません、でも……」

期待より不安の方が
大きいんです…

この状態で背中を押してもテコでも動かない。明らかな暴力である。



ケア【Care】とは何か？



ケアとは
相手の大切なものを大切にすること

By (株)あおいけあ代表取締役、加藤忠相さん



ひきこもり支援とは
**大切なものを失わないために何が
できるかを一緒に考えていくこと**

“**待ち**”の支援で

クライアントとの**信頼貯金**を貯める



何もしないことで
貯金が貯まるのが、
ひきこもり支援

ただ顔を出すだけ、ただ階下から一声掛けるだけ、ただお茶を飲んで帰るだけ、「**ただそれだけの支援**」が大切。

「**肩透かし**」で、言葉の入る隙間を作っていく。

信頼貯金を貯める

アウトリーチの“待ち”のテクニック

安心感

無理やり何かをすることはしない無言のアピール。
相手の安全地帯に絶対にに入らない。

お願い

「部屋から出てきて話がしたい」「気持ちを聞かせて欲しい」
相手の安全地帯に勝手に入らないまま。

待ち

※待ちつつ、行動の変化を観察しアセスメントを深める。
※お願い→待つを繰り返しつつ、お願いが本人からは難しいことを確認し、こちらからの提案に移る。

提案

家族が心配していること、困っていることを伝え、解決策のより踏み込んだ提案。「あなたが何か考えや計画、希望があったら聞かせて欲しい」

待ち

「待っても自分から出て来れないようなので、申し訳ないけどこちらから行くよ」←この**安全地帯に入る状況を作る**ための「待ち」がある。

対面

「自分で決めることは難しいようだからドアを開けるよ」
※関係を構築しながら、家庭内でのエンパワメント。

ひきこもり支援の「手段」と「目的」

部屋から出すことを「目的」とするのは引き出し業者である。本人に会うことは、あくまでも支援を開始させてもらうための「手段」であり、会うことによって支援が開始できない関係になっては意味がない。

では目的ってなに？



**その人が望む、よりその人らしい
人生を歩めることに貢献する**

待ちの支援をしながら

ひきこもりライフの質を上げる

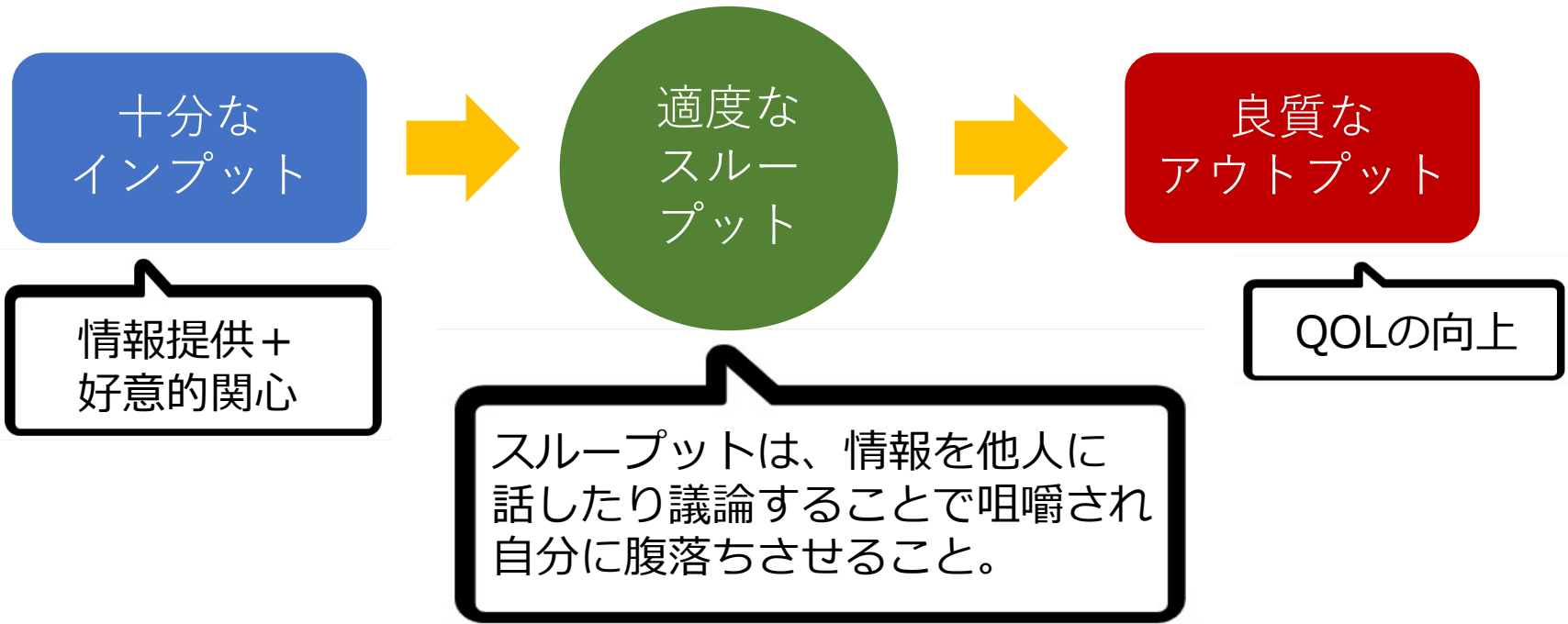
ひきこもりながら、生活の質（QOL）を上げることが経験の穴を塞ぎ社会参加をスムーズにする。

**家の中でできることが増え、
自分の成長を感じられた先に社会がある**



待ちの支援をしながら

ひきこもりライフの質を上げる



**ひきこもり者は支援者への
「依存」を頼りに家かの一步を踏み出す**

ひきこもりが長期化すると、 **家庭内のキャラが固定化する**

- 「ダンマリ・キャラ」で固定化されたら、家庭内や保護者の前では喋りたくても喋れない。
- 固定化されたキャラだけでアセスメントをしない。



そろそろこの
キャラも限界……

保護者の退席や外出の促し、ドライブや散歩など、可能な範囲で環境を変えることで、固定キャラが開放がされる場合がある。

②本人が支援の必要性を感じていない事例

- 「このままでいい」と思っている人なんていない
- 「助けて」なんてカッコ悪くて言えない
- フェイクに付き合いつつ、騙されない

この人になら
弱音が吐ける
かも……



ひきこもっている人の3つの状態



保護者にはどの状態も「支援を必要としない」

③ 「無意識モード」にしか見えない。

③家族が本人へ拒否的である例

- 家族の**当事者理解**が進んでいない。
「子供がひきこもりなんて恥ずかしい…」
- 家族の**発達障害理解**がまるでない。
「発達障害と言っただけで言い訳しているだけ…」
- 家族の**雇用情勢理解**が更新されていない。
「大学出てるのにフリーターなんかして…」

インタビューや面談をしながら

保護者のためのキャリア教育

子供のことで謝罪経験がトラウマ

またあの子のことで、
怒られるのではないかと、
防衛的なモードになっている？

(発達障害系あるある)

申し訳ありません



お母さんもお苦労されて大変ですねえ…

④ 本人の興味関心のあることから 支援につながった事例

例えば どんな支援資格よりも、
麻雀の点数が計算できる方が
役に立つ！（場合がある）



一芸に秀でた支援者

文化的フックが引っかかる媒体となる

- マニアックな音楽談義でつながる
- 『鬼滅の刃』トークに花を咲かせる
- ギターが弾けるようになりたい
- イラスト・サークルがあり目が輝かやく
- ポケモンGOが外出機会になる
- 昭和レトロで大盛り上がり

地下アイドル
が好き

同時代を生きたことが強みになる
何も知らないことも強みにできる！



ひきこもり
支援も！

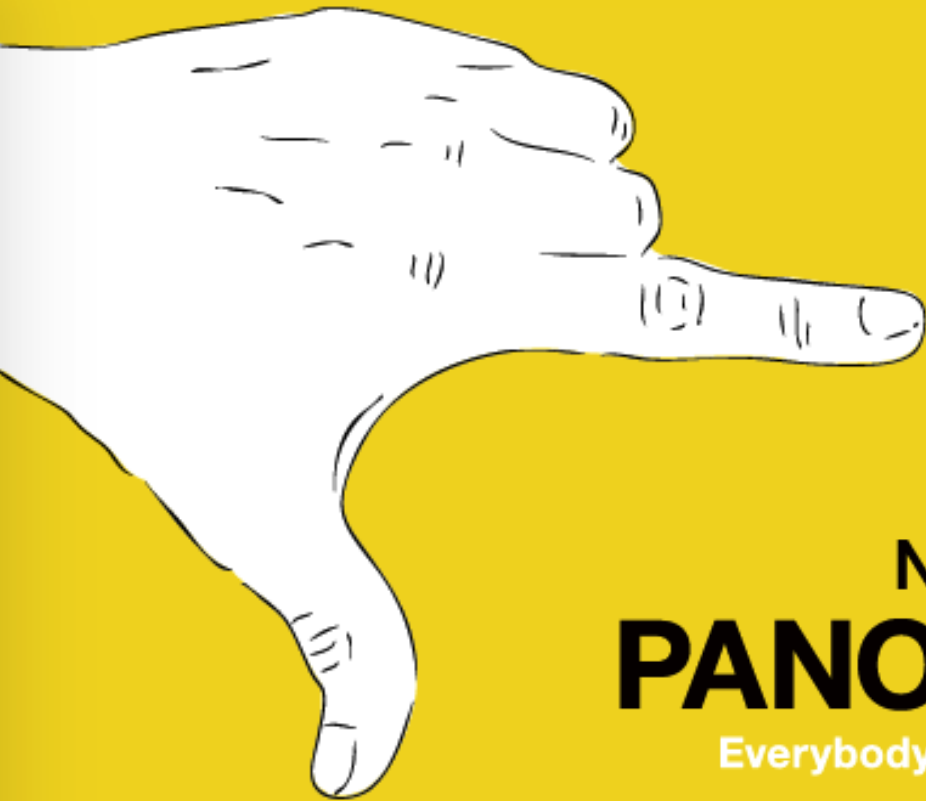
子ども・若者支援は

専門性 < 関係性



信頼貯金を使って専門家につなぐハブとなる

自分がゴールを決めようという意気込みを一旦捨てる



NPO PANORAMA

Everybody Can Frame In

すべての人をフレームイン！

石井 正宏



ご静聴ありがとうございました。